広報 あさぎり

12月15日
№336

〈人口〉
男 8,929人
女 9,155人
計 18,084人
世帯数 4,180世帯

発行所 麻生町役場
発行人 小沼幸蔵
印刷所 麻生印刷
麻生町1561－9
電話 ② 0811 (代)

十二月のメモ

1日 農業統計基本調査会議
5日 バレーボール連盟結成記念大会
10日 民生委員協議会
15日 農業委員会総会
17日 定例町議会（～22日）
24日 教育委員会
町県民税第3期分
国民年金第5期分
集合徴収（～25日）
28日 御用納め

第五回臨時町議会

麻生町簡易水道給水条例可決される

町公民館小高分館の建設に着工

し尿捨場確保の請願採択される

昭和五十七年度第五回臨時町議会が十一月九日（火）に開催されました。

議会は、町長の町政報告の後、麻生町災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付に関する条例の一部を改正する条例外三議案の審議と、専決処分に関する報告と審議、その外人権擁護委員の推薦についての諮問、し尿捨場確保についての請願があり、それぞれ原案どおり可決されました。

〈報告第四号〉

専決処分の承認を求めること。

昭和五十七年度麻生町一般会計補正予算（第五号）について、実施期日切迫のため、議会を召集するいとまがなかったので専決処分をし、これを議会に報告して承認を求めたものです。

〈専決第四号〉

昭和五十七年度麻生町一般会計補正予算（第五号）

町営弓道場整備工事費が不足したため補正したもので、一般会計歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ九十万円を追加し、歳入歳出それぞれ三十一億九百三十三万三千円としたものです。

〈諮問第一号〉

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員久保田一郎氏が、昭和五十七年八月三十一日付で辞任したため、後任に小峰光氏（麻生町宇崎七九八）を推薦し、議会の意見を求めたものです。

〈議案第四十五号〉

麻生町災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付に関する条例の一部を改正する条例

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波その他の異常な自然現象により被害が生じた場合に適用される「麻生町災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付に関する条例」を、法律の改正により「麻生町災害弔慰金の支給等に関する条例」と題名を、及び条文の一部を改正したものです。

〈議案第四十六号〉

麻生町簡易水道給水条例

簡易水道が新設されるため給水についての料金及び給水装置工事の費用負担、その他の供給条件並びに給水の適正を保持するために必要な事項を条例化したものです。

〈議案第四十七号〉

昭和五十七年度麻生町一般会計補正予算（第六号）

霞ケ浦埋立工事による漁業補償費、台風十八号による災害対策費、麻生町公民館小高分館建設費をそれぞれ補正したもので、一般会計歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ千三百六万円を追加し、歳入歳出それぞれ三十一億二千二百三十九万三千円としたものです。

〈議案第四十八号〉

麻生町公民館小高分館建設工事請負契約について

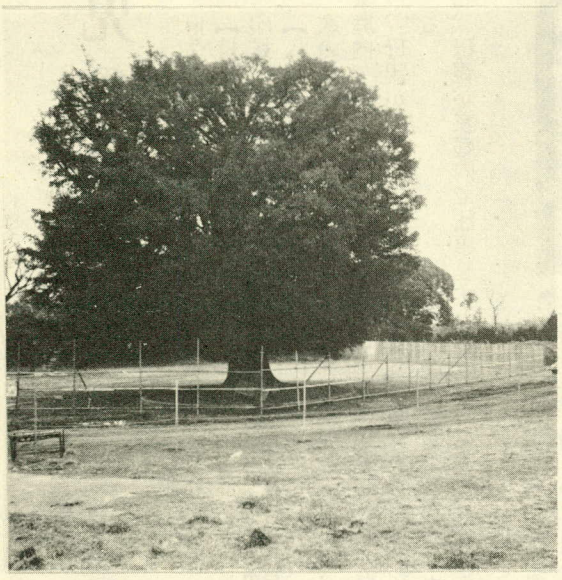
麻生町公民館小高分館建設工事の請負契約について、議会の議決を求めたものです。

(一)契約方法　指名競争入札
(二)契約金額　四千三百二十万円
(三)契約先　株式会社朝日工務店（鹿島郡鉾田町）
(四)構造　鉄骨平家建
(五)面積　三四五、八四㎡

〈請願第三号〉

し尿捨場確保についての請願

し尿汲み取り町指定業者からの請願で、現在板峰地区で処理しているし尿捨場の許容量が限界に達しており、新しい捨場の確保に鋭意努力しておりますが、その確保が難しく、町当局の特段のご配慮をお願いしたものです。



旧小高小跡地と県指定天然記念物（カヤの木）

翔べわかもの

――はたちの開拓者――

おめでとう「成人式」

昭和57年成人式・祝賀パーティ

一月十五日は成人の日です。この日に行われる成人式は、成人になられた皆さんを祝福し、激励し、成人としての自覚と教養を高め、社会人としての役割を正しく認識していただくことを目的として行われます。

成人式は、各地区から選出された実行委員さんが運営します。

式典の進行、成人となった感想発表、祝賀パーティなど、実行委員さんの創意と工夫で進められます。

この外、主催者（麻生町・麻生町教育委員会）からのお祝いの言葉や記念撮影・記念植樹が行われます。

昭和五十五年からその年の成人式のタイトルを設定していますが、昭和五十八年は翔べわかもの――はたちの開拓者――と決定されました。

おとなになったことを自覚し自から生き抜こうとする青年を祝い励ます行事として行う式人式の意義にマッチしたタイトルであると思います。

昭和五十八年の成人者数は現在、麻生町に住んでいる人と、麻生町出身者で他市町村に転出している人を含めて三百五人と推定されます。

ややもすると形だけの、華美になりがちな成人式ですが、おとなになることの意義、社会人としての責任感を確認して、期待される若人たちの成人式が厳粛にかつ盛大に行われますように望みます。

→記念植樹

料理講習会

講習生の募集

町では、年々減少傾向にある米の消費拡大を推進しています。お米を素材にした料理の実習をして、お米のすばらしさを見直したいと思います。ぜひ、この機会に料理講習会に参加して、お米の良さを再発見して下さい。

○申し込み方法

一、申し込み先――麻生町役場、企画観光課
二、講習会実施期日――昭和五十八年二月下旬の予定
三、参加料――無料
四、人数――先着六十名程度

詳細については、企画観光課にお尋ね下さい。

心配ごと相談

毎週木曜日
午後1時～3時
麻生町公民館

お気軽にご利用ください。

年末・年始の交通事故防止県民運動

――あなたが築く交通安全――

57. 12. 10～58. 1. 10

○飲酒運転追放三ない運動の徹底
○原付・自動二輪車事故の防止

歳末たすけあい運動

みんなそろって明かるいお正月を

「歳末たすけあい運動」によって集められた善意の寄付金は、地域の恵まれない人々や社会福祉施設を利用されている方々が、明るく楽しいお正月を迎えられるよう、社会福祉協議会を通じて、正月支度金、越年資金などとして有効に活用されています。　今年もご協力を……。

昭和五十八年度 保育園児の募集

昭和五十八年四月から、保育園に入園を希望する幼児の受付を、次の要領で行います。期間内に申し込みをお願いします。

【受付期間】
昭和五十八年一月十日（月）～一月三十一日（月）

【申し込み先】
麻生町役場厚生課

【持参するもの】
印鑑、健康保険証

【入園基準】
次のいずれかの理由により家庭内で保育が出来ない場合。
一、母親が家庭外で仕事をする。
二、母親が家庭内で仕事をする。
三、母親がいない家庭
四、母親の出産等
五、母親が疾病等の看護に当たる。
六、家庭の災害

【保育園及び定員】
一、麻生保育園（麻生町麻生九四四）、定員六十名
二、竜翔寺保育園（麻生町根小屋九九）、定員六十名

なお、詳細については、厚生課にお問い合せ下さい。

麻生保育園

竜翔寺保育園

農業制度金融を利用しましょう

「制度金融」は、国、県などが直接融資したり、農協や銀行が融資する場合、利息の一部を補助する制度です。

霞ケ浦をきれいにする目的で、昭和五十七年度から流域四十四市町村内の農業者が無利子で借りられる二つの資金が出来ました。

一、霞ケ浦浄化環境改善資金（農業近代化資金）
㈠ 対象施設――養豚の「素掘り尿だめ」を「コンクリート尿だめ」にする場合。
㈡ 貸付限度額――六百万円
㈢ 償還期間――九年以内（一年据え置き）

二、施設改善技術導入資金（農業改良資金）
㈠ 対象者――約三ヘクタール以上の作業規模の農家（共同作業・農作業の受託を含む。）
㈡ 対象施設――施肥田植機（二条～五条）
㈢ 貸付限度額――田植機の購入額。
㈣ 償還期間――五年以内

問い合せは、農協、地方総合事務所へ。

郵便局だより

年末の郵便利用について

年末は非常に多くの郵便物が差し出される時節です。郵便局では、大量の郵便物をスムーズに処理するためにいろいろと準備をしていますが次の点について皆さんのご協力をお願いします。

年賀状の差し出し

年賀状の差し出しは十二月二十日までに！

年賀状の受付は十二月十五日から始まりますが、年末押し迫ってからお出しになりますと、元旦の配達に間に合わなくなる場合がありますので早めにお出し下さい。

私製はがきなど、お年玉付き年賀はがき以外のはがきを年賀状としてお出しになるときは、表面に「年賀」と朱書して下さい。この表示がないと一般の郵便物として年内に配達されてしまうことがありますのでご注意下さい。

小・中学生の皆さんへ

皆さん、楽しいお正月はお友達と年賀状を交換することでしょう。いつもは郵便の少ない皆さんなので、郵便局では皆さんのお家を捜すのに苦労します。お友達へ出す時はめんどうでも宛名（住所）は詳しく、家の人（お父さん、お母さんなど）の名前も書き添えて下さい。

楽しい年賀状が迷い子になってはかわいそうです。

われら仲間たち ②

麻生町青年会

自己啓発と豊かな青春を！

わたしたち青年会は、「心身を修練し、よりよき個人の完成に努める」、「友愛を、共励を信条として団結する」、「住みよい郷土社会の建設に努める」、「人間愛と正義をもって、世界平和に努める」の四項目を綱領として活動しています。

具体的には、空き缶拾いや幼稚園でのもちつきなどの福祉活動、キャンプ、春期・冬期移動研修などの研修活動、バレーボール・バスケットボールなどの体育活動、女子独自の女子活動などを行っています。

その外、町民体育祭や、毎年水戸で行われている茨城の秋まつりに参加しています。他市町村の青年団体との交流も盛んです。

会員は、麻生町に住む若人で構成されており、住んでいる地区も年齢もまちまちで、会員数の多い地区少ない地区といろいろです。

より多くの若人が青年会に入って、自己成長の研磨や、より豊かな青春を送っていただきたいと思います。

――山野元浩会長談――

↑天王崎公園を清掃中

昭和五十八年度 学生募集

小山職業訓練短期大学校

一、特色
国が設置運営する工科系短大で、専門的理論と実技実習を融合一体化した教育により、テクニシャン・エンジニアの養成を目指す。

二、募集科及び定員
㈠生産機械科 ㈡金属成形科 ㈢電気科 ㈣建築科 ㈤工業・工芸デザイン科 各科二十名、計百名

三、応募日程等
㈠ 願書受付――昭和五十八年二月一日～二月二十八日
㈡ 試験日――昭和五十八年三月十日
㈢ 合格発表――昭和五十八年三月二十二日
㈣ 試験地――本校、宇都宮、水戸、高崎、郡山外

四、試験科目
㈠英語A ㈡数学I及びIIB ㈢物理I
（ただし、工業・工芸デザイン科は、物理I及び化学Iから一科目選択）

五、入学金等
㈠入学金　不要
㈡授業料　十二万二千円（年額）

六、詳細についての問い合わせ先
〒323 栃木県小山市横倉六一〇
小山職業訓練短期大学校
開設準備室
☎〇三八五(27)三一六〇・三一六一

麻生の文芸

俳句

白鷺の冬めく株田あさり居り　仲田　畊雲
冬めきて足袋白々とはきにけり　茂木　清
山窪の冬めく陽射し集めおり　箕輪　和子

短歌

朽ちかけし父の墓標に手触りつつ
疎遠の姉のつぶやき長し　箕輪　登美
穂すすきの風に伏すとき遠の田に
二羽の白さぎ降り立つが見ゆ　新藤てる子
また逢わむ日を願いつつ
一夏を共にすごせし簾包みぬ　小沼　芳江

俚謡

パート終って家路に急ぐ
一人息子へかけた夢　柏葉　昌子
借家住いを虚栄で捨てて
嫁はローンで四苦八苦　広岡　紫月
社長不正も素知らぬ風情
暮れのデパートよく売れる　羽生　晴空

ママさんバレーボールリーグ始まる

町内の家庭婦人バレーボールクラブとお父さんの参集を求め、体力づくりと町民相互の親睦を図り、明るい町づくりに寄与することを目的として実施します。

12月13日に開会式と審判講習会を行い、小、中学校の体育館を利用して、夜間継続的（週一・二回）に行います。

あとがき

師走の慌ただしさが過ぎると、間もなく正月が訪れます。心がはずみ、まわりの雰囲気がうきうきと感じられる。にぎやかな笛の音や太鼓とともに、しし舞いが勇壮に踊る。帰らぬ日の思い出が懐かしい。子どものころのこと。

戸籍の窓口

おめでとうございます

出生者	保護者	住所
橋本　圭代	龍夫	富田
菅沼　洋二	秀夫	富田
永作　嘉美	清剛	麻生
大竹　清一	幹男	麻生
渡辺　直人	訓紀	麻生
高野　浩市	市郎	麻生
鬼沢　寿和	正敏	矢幡
宮内　和央	文雄	矢幡
大崎　悟志	孝雄	矢幡
小林　大明	朗	青沼
大里　綾子	元一	青沼
箕輪　博之	勝啓	四鹿
小沢　佳子	政美	天掛
安藤　嘉祥	行男	於下
鴨下　博文	隆	行方
椎名　是文	章	五町田
渋谷　敏一	松男	島並
大竹　広子	初江	小高

おくやみ申し上げます

死亡者	年令	世帯主	住所
吉崎　芳郎	85	友啓	富田
松沢　敏雄	38	ト ミ	富田
羽生　ゆき	60	義男	麻生
青木　清子	32	貞雄	麻生
石神　勝次	89	千秋	石神
山野　繁	82	四郎	石神
荒張　忠衛	73	文保	白浜
箕輪市右衛門	80	文男	岡
柏葉　直	73	顕	篭田
荒張　多平	57	サノ	行方